

# NTCIRプロジェクト

Honorary Co-chair: 神門 典子 (国立情報学研究所)

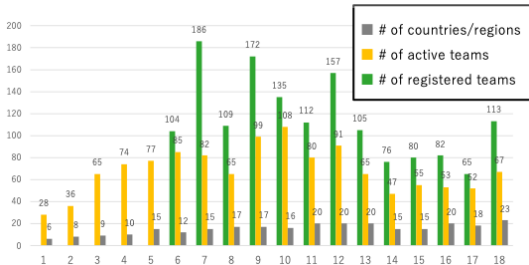
General Co-chairs: Charles L.A. Clarke (University of Waterloo, Canada), 加藤 誠 (筑波大学 / 国立情報学研究所), Yiqun Liu (Tsinghua University, China)  
Program Committee Co-chairs: Qingyao Ai (Tsinghua University, China), Chung-Chi Chen (産業技術総合研究所), 若宮 翔子 (奈良先端科学技術大学院大学)

1997年よりNTCIRプロジェクトでは情報検索、文書要約、情報抽出、質問応答などの情報アクセス技術を進めるための研究活動を推進して参りました。全体的な目標としては以下の3点を掲げております：

1. 大規模な情報アクセス技術の評価を可能にする研究基盤の提供
2. 比較可能な実験結果から得られる知見が相互に共有される研究コミュニティの形成
3. さまざまな情報アクセス技術の評価方法、および、評価指標の確立

NTCIRにて複数の研究者が協力することで、新しい情報アクセス技術の有効性検証に欠かせない、大規模なテストコレクションを構築することが可能になります。また、NTCIRでの協力を通して、研究対象に関する深い洞察が研究者間で共有されることが期待されます。

### NTCIRの参加者数の推移



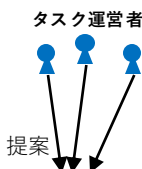
### NTCIRデータセットの利用数



### # of international vs domestic users



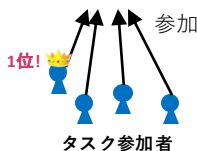
## NTCIRのWIN-WIN構造



1. 自由にタスクを設定する
2. データセットを構築する
3. 参加者にシステムを作ってもらう
4. 参加者のシステムを評価する
5. 知見を得て論文を書く

### WIN-WIN

運営者：自分で問題を解かなくてもその分野が発展  
参加者：問題解決に注力できる

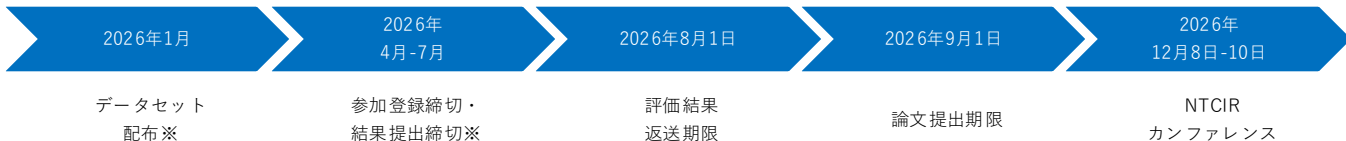


1. 好きなタスクを選ぶ
2. データセットをダウンロードしてタスクの要件にあったシステムを作る
3. タスク運営者に評価してもらう
4. 知見を得て論文を書く

## NTCIR-19

2025年6月から2026年12月の間、第19回目のNTCIR、**NTCIR-19**が実施されています。NTCIR-19では過去最多の14タスクが採択されており、非常に多様なタスクの中からご自身の関心にあったタスクを選んで参加いただけます。

※タスクによって異なります



## NTCIR-19タスク

### 近代的情報検索タスク

- AgenticInstruction: エージェント検索
- Lifelog-7: Personal ライフログ検索
- ModelRetrieval: 事前学習モデル検索
- ToT: うろ覚え検索

### 応答評価

- AEOLLM-2: LLM評価
- R2C2: RAG評価
- SciClaimEval: 論文の主張検証 (クロスモーダル)

### 特定ドメインのNLP

- CAMEO: 画像付き商品に対する検索・質問応答
- DAGRI: 農業文書中の表に対する質問応答
- FEHU: 価値観の理解とテキスト生成
- FinArg-3: 金融文書からの主張・意見抽出
- HIDDEN-RAD2: 胸部X線画像からの理由付き診断生成
- MedNLP-CALL: 救急医療における緊急度の分類
- RegCom: マルチモーダル企業コンプライアンスチェック

NTCIR-19ウェブサイト

多くのタスクの参加登録は2026年4月~7月  
情報検索・自然言語処理に関心のある方は参加をご検討ください

